

ダイワ精密プレス 株式会社

〈事業計画名〉医療・レーザー関連市場における微細加工技術開発と量産体制の構築



世界的に規制がかかる有機溶剤系からの脱却 作業効率向上と新分野への足掛かり

事業の背景 ▶▶▶

洗浄工程のボトルネックと世界的規制

金属プレス加工においては、油膜によって金型と製品材との摩擦を低減させ、加工工程における傷・割れ・焼き付きなどを防ぐ「加工油」が品質維持の為に必要不可欠なものである。出荷時には油分の完全除去を求められるため、当社では有機溶剤系洗浄機を使用して脱脂処理を行っていた。

しかし、有機溶剤系洗浄機では複雑な形状や微細な絞り製品においては完全に脱脂する事が難しく、洗浄時間や回数を増やす必要があり、工程のボトルネックとなっていた。

また、産学官連携で開発を進めている医療機器・レーザー関連機器分野の高付加価値製品やグリーン調達をしている企業の製品においては、人体や環境への影響が大きい有機溶剤系洗浄液の使用が認められておらず、世界的にも規制強化の動きがある。開発中の高付加価値製品については手洗いで対応するなど、作業効率が非常に悪く量産体制の構築が難しい為、洗浄工程の刷新が急務となっていた。

事業の成果 ▶▶▶

作業効率の飛躍的向上と新分野開拓

本事業では、有機溶剤系洗浄機を廃し、新たに炭化水素系洗浄機へ入れ替え導入を行った。

有機溶剤系洗浄液は洗浄液の劣化・洗浄品質の低下が早い為、経験を積んだ専任の担当者が常駐して監視しながら、手作業で洗浄する製品を投入・取り出しする必要があったが、炭化水素系洗浄液は洗浄器内で蒸留再生する事で洗浄品質を保つことができ、監視も不要となり、製品は自動で投入・取り出しが可能となった。その為、洗浄工程の大幅な効率化・人員配置の見直しが実現し、メンテナンスなどのランニングコストを半減する事が出来た。

また、有機溶剤系洗浄液では参入が難しかった分野への本格的な進出が可能となり、新たな市場開拓に繋がった。



ダイワ精密プレス株式会社の概要 ▶▶▶

挑戦・不屈の技術屋魂を受け継ぐ

当社は、終戦後の昭和24年に創業した鎌田製作所を前身にもち、昭和34年に設立された。金属プレス・薄板加工を主体とし、各種試作開発、金型再生などの金属加工において総合的に事業を展開。現在はプレス加工事業に次ぐ主力事業として自社独自の製品開発に注力し、サプライヤーではなくメーカーとしての事業展開を目指している。

基本理念として「温故知新」を掲げ、潜水艦乗務員であった創設者から、戦時中の困窮した物資状況の中で創意工夫を凝らした挑戦・不屈といった技術者のDNAを継承し、現在も「ダイワマンダラ」という形で会社理念として時代に合わせた進化を続けている。



ダイワ精密プレス株式会社 DAIWA TECHNICAL PRESS CO.,LTD.			
事業	経営理念	企業文化・風土	
〇個性加工 〇難製作材の加工 〇金型の設計・製造 〇高度技術によるリノベーション 〇機械設計・製造 〇環境開発製品の企画・製造	グローバルな視点から、豊かな社会創造に貢献し、夢をカタチに創造する企業でありたい。	〇自立 〇自分で考えて行動し、結果を出す 〇挑戦し続ける 〇ハルリをもつて仕事をしている 〇悪いやりかたを正す 〇チャレンジによる失敗は大多数 〇共同歩調、フイリガヤガヤ、意思疎通	
会社運営方針	基本理念	温故知新	行動指針
〇高度な技術で、より大きな可能性に挑戦する社会 〇生き甲斐・働き甲斐のある会社 〇社員ひとり一人が、全力投球できる環境をつくる	基本方針	品質第一・変化即応	- 強い精神力 - 速い・想像力 - 豊かな感受性 - グローバルな視点からモノをみる
財務方針	人事方針	人事方針	組織方針
〇経常利益10%を目指す 〇無借金経営 〇現金取引を基本とする	見える人事評価制度 実力主義・能力主義 貢献度・成果を反映する人事制度 教育制度の確立	見える人事評価制度 実力主義・能力主義 貢献度・成果を反映する人事制度 教育制度の確立	〇変化即応ができる組織体制 〇柔軟性・有機的な反応ができる 〇フラット型組織 〇サッカー型のチームづくり

ダイワ精密プレス株式会社の技術 ▶▶▶

独自技術「3D絞り加工」と特殊材対応

当社では、付加価値の高い「絞り加工」の技術革新を進めている。通常の絞り加工では一方向しか加工できないが、当社独自の3D絞り加工技術「大仏絞り」では、縦・横・斜め等、自由自在に3D形状を作ることが出来、3Dプリンター代わりに試作から量産まで対応できる技術として提案している。

また、あらゆる金属やゴムへのプレス加工が可能であり、特殊材への対応力は業界トップクラスであると自負している。

取扱い可能な特殊材

タンタル、チタン、TAMAC、C5191-H、NBR、エポキシガラス、モリブデンナイロン、ステンレス全般、42アロイ、インコネル、モリブデン、CFRP、洋白C7681、ハイトン材、他

ダイワ精密プレス株式会社の新事業 ▶▶▶

金型についての相談サービス

当社では「寧楽(ネイラック)システム」と称し、永年培ってきた技術力・開発力・創造力を駆使し、顧客の様々なリクエストに応える受注システムを構築しており、その一環として、「金型医療診断サービス」を展開している。

昔から他社の金型移管の相談を受ける事が多く、新たな技術開発と並行して、既存の顧客技術・生産業務を止めず、業界貢献になるよう、金型移管などについての相談サービスを事業化した。出自が不明な金型の分析・修復・調整・リノベーションや移管金型の受け入れ等、他社が敬遠しがちな金型の困り事についての全般的なサポートを事業内容としている。



金型設計・製作 ~ 各種プレス製品の試作・量産まで一貫生産できるシステムを活用した **当社独自の金型医療診断サービス**

顧客のニーズにあった最適な金型医療・再生・福祉サービスを提供します

当社は金型設計・製作 ~ 各種プレス製品の試作・量産まで一貫生産しております。また、金型業界における顧客さんとして移管金型などの受け入れも行ってあります。当社の医師が金型や製造工程を的確に診断し、リノベーションさせていただきます。

モノづくりとはパズルのようなもの

顧客が必要とする1ピースのパスルが当社の金型再生医療福祉サービスなのです。

こんな問題抱えていませんか？

- 経理から量産まで一貫して依頼出来る所がない
- 生産委託先がない
- CADデータ(図面)がない
- 寸法が安定しない
- 金型が壊れてしまったが修理ができない
- 金型投資を控えて、ライフを伸ばしたい

金型業界における問題は他にも様々ございます。そんな時は、当社にお任せください。

ダイワ精密プレス 株式会社

業 種 分 類 電気機械器具製造業

事 業 内 容 (1)金属プレス用金型の設計及び製作
(2)試作金型～試作品まで
(3)一般プレス加工
(4)各種省力化自動機の設計・製作

代 表 者 名 代表取締役社長 平山 彰良

所 在 地 奈良県奈良市南京終町2-283

連 絡 先 TEL:0742-62-1311 / FAX:0742-62-2313

ホームページ <http://www.the-dsp.co.jp/>

E-MAIL kanri@the-dsp.co.jp